

広報明誠

◆◆第93号◆◆

平成24年3月1日

発行：日本大学明誠高等学校後援会



2010年 明誠高校上空より

主な内容

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| ○一年を振り返って…………… 学校長…………… 2 | ○夏季研修会報告…………… 8 |
| ○一年を振り返って…………… 会 長…………… 3 | ○強歩大会…………… 9,10 |
| ○誠祭バザー・お茶処の報告… 実行委員長… 4 | ○強歩大会活動報告…………… 11 |
| ○体育祭…………… 5,6,7 | ○後援会活動報告等…………… 12 |



桜が満開になり上野原の段丘に春の訪れが来たと心を躍らせ、毎朝管理棟の前庭を歩きながら日ごとに大きくなる梅の実を見て、塩の利いた梅の握り飯や梅酒を思い浮かべていたのが、ついこの間のよう感じます。「光陰矢の如し」とは使い古された言葉ですが、今年的一年は特に早く感じました。年々そのように感じるのは私だけでしょうか。

さて、1年生はいつの間にか新入生という呼び名も取れてたくましさが増し、チーム「日大明誠」の一員として自覚をもって高校生活を送っているようです。3年生が引退した部活では、2年生と1年生が来年入ってくる新入生に対して先輩としての貫禄を見せ付けるかのように、練習に励んでおります。

一年を振り返ってということで、ここに各学期の始業式のときに生徒に対して話をしたことを書いてみました。本校は2学期制で授業を行っていますので、1・2学期の始業式となります。

学期の方針として授業態度・生活態度の向上を図りましょう。

- 1、授業態度がすべての基本です。授業態度を良くする為には、家庭学習の充実が大切です。前向きに自分に負けないように努力しましょう。自分の敵は自分です。
- 2、服装・頭髪についてルール違反は許されません。だめなものはだめなのです。注意を受けたならば、素直に指導に従いましょう。自ら正す自覚と自立心を強く望みます。
- 3、心と体のバランスを崩さないようにしましょう。強い心・強い体を鍛えましょう。困ったことや悩みがあったら、お互いにチームワークで助け合いましょう。支えあいましょう。
- 4、部活動に積極的に参加しましょう。部活動が青春時代にとって大変貴重な人生勉強の場です。多くのことを学ぶことができます。かけがえのない友情を育んでください。といいました。

また、1学期のときには終わりの一言として、一歩ずつ向上心を持って努力してください。1年たったとき必ず成長した自分に驚くはずですよ。皆さん一人ひとりがそれぞれに頑張れば、努力すれば、発見があれば、感動があれば、出会いがあれば、きっと「明るく、楽しい学校」になります。日大明誠高校というチームの一員として、皆で学校を盛り上げて部活に勉強に頑張りをしましょう。と話しました。そして、7月の全体集会のときには、人間として成長することとはどういうことかある教育者の話を例にとって話しました。

成長するってどういうことか、ここに紹介します。「好きなものが増えることが成長」・・・「あれいいね」「あれ楽しいね」って、ある子が言うと、すぐに「くだらない」「何がいいんだ、そんなもの」なんていう子がいるよね。何かをバカにしたり、嫌いになったりするの、すごく簡単なこと。「あれいや」「これ嫌い」なんて幼児でもよく言うさ。でも、好きになるのはエネルギーがいるし、勉強だっている。自分の好きなものがふえることこそ成長なんだよ。1年たったとき、好きなものがふえていれば、心が大きくなって、成長したことになるんだ。その逆にならないようにしないとね。と話しました。

2学期の始業式のときには、目標達成までのプロセス（過程）について、4段階で話をしました。

部活動でもいいし、大学進学でもいいですから、自分に当てはまるもので考えてください。

- 1、例えば、英語ができるようになるんだ・日大〇〇学部へ入学するんだ・部活で全国大会へ出場するんだと決心する。自分が決心しなければ目的は達成できないし、成功はありえない。
- 2、当たり前だけど「決心」したことは「やる」ということ。「決心」だけでは何もならない。
- 3、ここが最大の分かれ道。すごいことをやり遂げた人は、この段階が違うのだ。「決心」したことを続けていくと、必ず壁に当たる。失敗が続いたり、邪魔が入ったりとんでもないトラブルがあるものなんだ。これは誰でもそうで、例外はないね。どんな偉人の偉業にもこの段階があったんだ。スムーズに大きな目標を達成した人なんかいない。それは伝記を読めばわかるよね。しかし、偉大な人は、ここで絶対にあきらめなかった。だからこそすばらしいことができた。
- 4、あきらめさえしなければ、目標達成・乾杯ってなるわけだ。と、こんな話をしました。

本校の生徒は、本当に良く聞いてくれます。「静かにして話を聴きなさい。」と一回も注意したことはありません。このことは、これから本校の伝統としていきたいものです。日頃のご家庭での教育と先生方の普段からの指導の賜物と感謝しております。人の話を聞くという基本的なことはとても大切なことです。簡単なようで今の子供たちにはなかなか出来ていないのが現状です。授業も同じです。まずは、先生の話聞くことからスタートします。授業の内容を理解するのも基本は先生の話聞くことです。この1年を振り返って、印象に残ったことはたくさんありましたが、その中のひとつを書かせていただきました。何気ない平日頃の指導がいかに大切であるかを改めて感じている今日この頃であります。

参考文献：感動の「初動教育法」田中真澄著

時の流れは早く、平成23年5月14日の後援会の定期総会において会長に就任してから、この後援会広報誌が発行される頃には1年が経とうとしております。3年前の4月桜の花が咲き誇るなか、希望を胸に入学された生徒達が、ここに卒業を迎え将来の希望を胸に膨らませはばたく時が来ました。

昨年3月の東日本大震災は、過去に経験したことのない想像を絶する甚大な被害を各地にもたらしました。そして、9月にはタイの記録的な洪水による被害やギリシャ発の欧州債務金融危機に依る円の高騰、株価の乱高下。国内はもとより世界的に見てもさまざまな出来事がありました。未だ不透明な厳しい経済状況ではありますが、今年は辰年です。辰年は成長や発展の年だとされています。今年1年を素晴らしいものにしたいと思います。

さて、この1年を後援会の各事業を通して振り返りますと始めの行事は、6月24・25日に行われました誠祭のバザーです。各家庭から送られた品物も500品と昨年以上集めることができました。この場をお借りしまして品物をご提供いただきました教職員の皆様、後援会OB、後援会会員の皆様に心より御礼を申し上げます。前日に会場となるテントの設置、バザー用品の仕分け、値段付け、お茶処の準備に追われました。当日は朝早くから多くの方々ととても賑わい大盛況でした。地域住民、生徒、会員が触れ合う場となり、地元との交流が出来たことはたいへん喜ばしく思いました。

次の事業として7月17日に行われました研修会です。前年より始めました、親校である日本大学訪問を恒例化しまして、日本大学文理学部オープンキャンパスに参加いたしました。保護者が直接参加して、都心にある素晴らしい教育環境を体験し、学部関係者と交流しチーム日大明誠をアピールできました。また、橋都校長先生を始め学校関係者も多数参加していただき、後援会会員の交流のため浅草での昼食会を行い充実した有意義な研修会となりました。

次の事業は年々行われる強歩大会です。2月18日に男子、女子とも14kmを完走する日大明

誠の伝統ある行事です。後援会では前日はテントの設置をはじめ、食材の下ごしらえなどの準備を行います。当日は役員と委員で大会コースの要所に先生方と一緒に誘導係として参加したり、千人分のとん汁を作り、ゴールした生徒達に激励、慰労の意味で振る舞い、支援していきます。

最後の事業は、本年も3月1日の卒業証書授与式終了後、京王プラザホテル八王子にて行われます卒業謝恩会です。卒業生が3年間で指導いただいた教職員の諸先生方に感謝とお礼の気持ちを込めまして、保護者の皆様と共に卒業謝恩会を開催するため現在準備に追われておりますが、この広報誌が発行される頃には盛大に行われていることと思います。

最後になりますが、会長としていたらない点が多々あったなか、後援会活動に多大なるご尽力ご協力いただきました役員、委員並びに校長先生、教頭先生、事務長、経理長はじめ教職員の皆様、学校関係職員の皆様、そしてご理解を頂きました後援会会員関係各位に心より感謝申し上げますとともに、今後の明誠高校の発展、後援会の発展をお祈り申し上げてごあいさつとさせていただきます。「感謝」



後援会主催のバザーを本年も誠祭にて行いました。

この毎年恒例となっているバザーは、単に誠祭の応援事業という目的だけでなく「地域に根ざした学校」という願いを込めて行っている事業であります。

毎日生徒が通っている通学路の治安や自然環境を守って頂いているのは上野原地域の方々です。その地域の方々に誠祭へ来ていただき学校を見てもらい、感謝の気持ちを伝えたいと考え、始めたのがバザーという事業でした。

後援会は毎年役員改正を繰り返し、常に新しい考えの下で運動を行っていますが、逆にそのことが弊害になり事業実施時の目的を忘れてしまう傾向にあります。

本年はバザーの成功はもとより、後援会の皆様にも事業の目的意識を高める様に何度も意識の徹底を行いました。それにより地元の方々への対応も昨年より更に良くなったように感じました。事業の目的は来年への申し送り事項としてしっかり伝えていこうと思います。

バザー当日はお茶処を含め、沢山の方々にご利用いただきました。会場には笑顔が絶えず、大成功裏に終了することが出来ました。

ご父兄の皆様にはご協力いただきましたことを感謝いたします。

特に野球部やサッカー部のご父兄の皆様には、沢山のバザー商品を提供していただきました事をこの場をお借りしてお礼を申し上げます。有難うございました。





校長先生



後援会会長



選手宣誓



準備体操



玉入れ



徒競走



二人三脚



部活対抗リレー



3年大縄跳び



2年大縄跳び



1年大縄跳び



騎馬戦



棒倒し



棒引き



台風の日



リレー



障害物競走



綱引き



応援合戦



ムカデ競争



かわいい演技



優勝旗授与

日本大学文理学部オープンキャンパスに参加

平成23年7月17日(日)後援会委員、役員の研修会として日本大学文理学部のオープンキャンパス(テーマ:何かを見つける。何かが見つかる。)に、橋都校長先生をはじめ学校側から5名、後援会委員・役員77名(ご夫婦参加も多数いました)総勢82名で参加いたしました。

当日は貸し切りバスにて、日大明誠から八王子駅を経由して文理学部に向かいました。

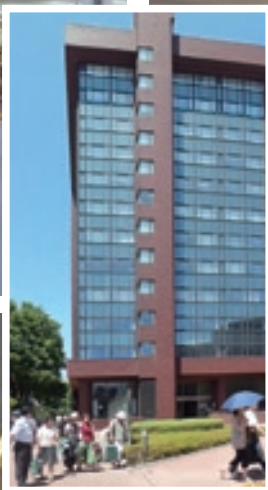
文理学部のキャンパスは、都心に近い世田谷区桜上水に所在していて非常に立地がよく、「文」と「理」の融合を特色とした教育と研究を行っている人文系・社会系・理学系の3系統17学科の複合学部であり、日大明誠から毎年大勢の生徒が目標にし、進学している学部でもあります。学部到着後には一般の全体説明会とは別に本館会議室にて、学部、各学科の特徴と求めている人間像などの説明会を設けて頂きました。その後、各々により模擬授業に参加、学食で食事、キャンパス内を見学など保護者の皆様が積極的に行動していただき、素晴らしい教育環境を体験することができました。

文理学部の後に後援会員相互のより一層の交流を

図るため、スカイツリーを横目に浅草の貞千代にて昼食、懇談を行いました。お店側からの余興やプレゼントもあり、少しばかり江戸情緒を味わうことができ、とても和やかで楽しい昼食会となり充実した研修会となりました。

全ての行程が終わり八王子駅で解散後、自由参加による意見交換会及び反省会をいたしましたところ、半数以上の方が出席していただき子供の進路や後援会事業について歓談いたしました。またこちらの会より日大明誠から文理学部オープンキャンパスに100名近くの生徒を引率していました小俣先生、本間先生にも参加して頂き状況の説明をしていただきました。

都内をバス移動して、猛暑の中かなりの距離を徒歩移動があったにもかかわらず、参加頂きました皆様のご協力により最後まで予定時間通りに進行できましたこと、心から感謝申し上げます。昨年の日本大学生物資源学部オープンキャンパス参加に引き続き、本年度研修会も無事、有意義に終えることができました。有難うございました。





スタート



雪の中がんばれ !!





いつもお世話になっています



命の水



足下に気をつけて



ゴール !!



「うまい !!」



本年度の強歩大会は2月18日に予定通り開催されました。

1月にはグラウンドを埋め尽くす程の雪が降り、相当冷え込んで、その雪が凍結して溶けるまでに時間が掛かり再度の雪に大変心配しました。

大会前日の準備日の下ごしらえの作業中にも急な雪が降り出し、心配でコースを下見してきたりしましたが、コースの雪はそれ程でもなく、大丈夫かなと少し安心して帰宅致しました。

大会当日は晴天に恵まれたのですが、昨夜一旦止んだ雪は朝方にまた降り、一面雪となりコース調査に先生方の慌たしい朝が始まりました。

緊急職員会議になりコースも安全性の面から短縮が余儀なくされ、約6キロに変更されての開催となりました。

短い距離でしたが、生徒たちはコースから時折覗く富士山を眺め、吐く息の白さを楽しみながら無事に行われました。

コースの誘導には、野球部やサッカー部の保護者の皆様にもご協力頂き、先生方と共に生徒たちを安全に誘導することが出来ました。多大なるご理解とご協力に感謝致します。

生徒達も安全に走ることが出来て楽しい思い出に残る大会になったと思います。

1着の生徒は28分33秒と、早いタイムのゴールとなり、その後、次々とゴールしてくる生徒達、疲れた〜と、友達と励まし助け合い笑いながらゴールし

てくる生徒達に後援会が用意した“トン汁”と“おにぎり”を配り、生徒達との会話を楽しみながら触れ合うことができ、子供達の高校生活の思い出の中に少し入ることが出来たのではないかと嬉しく思います。

この支援活動のトン汁作りには、寒い中での前日からの仕込み調理やテント等施設設営・コース誘導、また保健所への届け出、材料の発注段取りなどを「TEAM明誠」の名の下に生徒達の為にと多くの役員・委員・保護者の皆様の協力により滞りなく終了することが出来ました。

生徒達から“あったか〜い、美味しかった”の言葉に支援参加者の苦勞が報われ、大変ほっと致しております。

一時は雪の心配から、大会当日の中止や延期になっても保存できるカップ麺に変えようかなど、実行委員会でも発注ギリギリまで迷いましたが、カップ麺では活動の内容が希薄になってしまい、支援参加を快く引き受けてくれた保護者の方々の思いを無駄にしたいと判断して、参加者の方々には大変な苦勞をおかけしましたが、トン汁作りが実行できて本当によかったです。

これからも、沢山の保護者の皆様が参加出来る「TEAM明誠」の支援活動を続けていきたいと思っています。誠に有り難う御座いました。

これからも後援会活動のご理解、ご協力を宜しくお願い致します。



平成23年度 後援会活動報告

- 
- 平成23年 5月 後援会定期総会
第1回役員会
- 6月 第2回役員会
第1回委員総会・学年別委員会
誠祭バザー・お茶処 準備
誠祭バザー・お茶処 実施
- 7月 「広報明誠」発行 92号
後援会研修会(日本大学文理学部訪問)
- 9月 祭典パトロール
第3回役員会
- 10月 体育祭
- 12月 第4回役員会
第2回委員総会・学年別委員会
- 平成24年 1月 賀詞交歓会
- 2月 強歩大会豚汁 準備
強歩大会豚汁 実施
- 3月 卒業式・卒業謝恩会
「広報明誠」発行 93号
- 4月 入学式
第5回役員会
- 5月 後援会定期総会

～編集後記～

今年度も無事に「広報明誠」を発行出来ました事を、広報部一同心より感謝申し上げます。

また、お忙しい中原稿をお寄せ下さった先生方、後援会役員の皆様、発行にあたりご協力頂いた方々に部員一同よりお礼申し上げます。

今後とも、皆様のお手元により良い広報誌をお届け出来るよう、紙面作りに努力し励んでいきたいと思ひます。

皆様からのご意見、ご感想、ご協力、ご要望等ありましたらお知らせいただければ今後の参考にさせて頂きます。

ありがとうございました。

(広報部員一同)